

資料 『NEW はじめての透析看護振り返りテスト』(解答・解説)

本書の内容をもとに作成したテストです。復習や知識の整理にご活用ください。

問題番号の後ろにある「章と節〔例(1章①)〕」は、問題に関連する内容の掲載箇所を示しています。

【問題 1 (1章①)】

解答…④

〈解説〉

腎臓では、体の代謝でできた多量の老廃物を濾過して効率よく排泄するため、糸球体濾液(尿の元である原尿)の約99%の水分が尿細管で再吸収され、尿として排泄されるのは約1.5L/日である。

【問題 2 (1章②・③)】

解答…⑤

〈解説〉

末期腎不全の治療として行われる腎代替療法は、大きく透析療法(血液透析と腹膜透析)と腎移植に分けられる。

【問題 3 (1章④)】

解答…③

〈解説〉

拡散は小分子量(リン、カリウムなど)の物質を取り除くことに優れている。しかし、中分子量以上の物質に対しては、拡散機能が低下してしまい、効率が落ちる。

【問題 4 (1章④)】

解答…②

〈解説〉

HDFの補充液(置換液)を注入する方法には、大量の補充液が可能な前希釈と、補充量が少なくても小分子物質の除去特性が高い後希釈がある。ヘモダイアフィルターに「入る前」に補充液を入れる方法を前希釈、ヘモダイアフィルターを「通った後」に補充液を入れる方法を後希釈という。

【問題 5 (2章①)】

解答…①

〈解説〉

血液透析では1透析当たり120~150Lの大量の透析用水が使用される。

【問題 6 (2章②)】

解答…②

〈解説〉

血液透析(HD)よりも移動する水分が多く、膜への負荷も大きくなるため、ダイアライザの代わりに、透過性を高めたヘモダイアフィルタを使用する。

【問題 7 (2章③)】

解答…①

〈解 説〉

ドライウエイト (DW) は、「体液量が適正で、透析中に過度の血圧低下を生ずることなく、かつ長期的にも心血管系への負担が少ない体重」と定義される。

【問題 8 (3章①)】

解答…⑤

〈解 説〉

体重測定で測定や転記のミスを防ぐには、ひとりではなくダブルチェック体制をとるなど、複数の目で確認することが望ましい。

【問題 9 (3章②)】

解答…②

〈解 説〉

過除水では、血圧下降、意識消失、シャント閉塞の原因となる。除水不足では、心不全、肺うっ血を誘発する危険性がある。

【問題 10 (3章③・④)】

解答…③

〈解 説〉

下肢が攣る場合は、温罨法（ホットパックなど）で下肢を温める。

【問題 11 (3章⑤)】

解答…④

〈解 説〉

止血は、皮膚と血管のずれを意識し、皮膚・血管の両方の穿刺孔を同時に圧迫することが、確実に止血するポイントである。

【問題 12 (3章⑥)】

解答…⑤

〈解 説〉

留置カテーテルには、緊急血液透析などに一時的に使用する非カフ型カテーテルと、その他のバスキュラーアクセスの作製が困難な場合に長期的に使用するカフ型カテーテルがある。

【問題 13 (3章⑥)】

解答…①

〈解 説〉

静脈高血圧は、静脈の狭窄や閉塞により、シャントの血液が末梢側へうっ滞することで生じる。シャント肢と対側肢の太さに左右差があれば、中枢側の狭窄を疑う。

【問題 14 (3章⑦-1)】

解答…③

〈解説〉

穿刺時はトラブルが起こりやすいので、1人は穿刺操作、もう1人は機器を操作し、2人で行うことが望ましい。

【問題 15 (3章⑦-1)】

解答…④

〈解説〉

前回穿刺した部位から5mm以上離し、毎回、穿刺部位を少しずつ変え、同一部位に穿刺することは避ける。

【問題 16 (3章⑦-1)】

解答…⑤

〈解説〉

患者には、非透析日(透析の翌日)にシャントケア(穿刺部保護材を剥がし、シャント肢をよく洗い、保湿クリームやローションを使用してケアするなど)を行うように指導する。

【問題 17 (3章⑦-2・3)】

解答…①

〈解説〉

人工血管は身体にとって異物であるため、自己血管より感染・閉塞・狭窄などのリスクが高い。

【問題 18 (4章①)】

解答…④

穿刺部痛や血管痛では、体外循環量を減らし、穿刺部周囲に冷・温罨法を行い、麻酔薬テープの使用を検討する。また、穿刺の痛みに対して、心因的要因が影響している場合は、患者の訴えを傾聴し、声掛けを行う。

【問題 19 (4章①・②)】

解答…②

〈解説〉

激しい頭痛がある場合には、脳梗塞や脳出血、髄膜炎を疑う。抗凝固薬を使用しているので、特に脳出血に注意する。

【問題 20 (5章)】

解答…③

〈解説〉

透析患者の血圧は、高値よりむしろ低値のほうが生命予後に影響を及ぼすため、特に注意が必要である。

【問題 21 (6章①)】

解答…④

〈解説〉

いも類・根菜類のカリウムは、水にさらしたり、ゆでこぼしても含有量はほとんど減らないため、カリウム含有量の少ない食品を組み合わせて摂取し、過剰摂取を防ぐなどの工夫が必要である。

【問題 22 (6章②)】

解答…①

〈解説〉

透析で除去されやすい薬については透析後に投与するなど、投与のタイミングも考慮する必要がある。

【問題 23 (6章③)】

解答…⑤

〈解説〉

クレアチニン (Cr) は、筋肉から産生される物質で筋肉の多い人ほど高めになる。

【問題 24 (6章③)】

解答…②

〈解説〉

透析管理において、値が高いと致死性の不整脈を発生することがあるのは、カリウム (K) である。

【問題 25 (6章③)】

解答…③

〈解説〉

ナトリウム (Na) が低い場合は、体内の Na 不足ではなく、体内の水分貯留が多いために薄まっていることがほとんどである。

【問題 26 (6章④)】

解答…④

〈解説〉

フレイルとは、「加齢とともに心身の活力が低下し、複数の慢性疾患の併存などの影響もあり、生活機能が障害され、心身の脆弱性が出現した状態であるが、一方で適切な介入・支援により生活機能の維持向上が可能な状態像」とされている。フレイルの「初期の段階（活動は低下しているが生活には支障がない段階）」をプレフレイルという。

【問題 27 (7章①・②)】

解答…②

〈解説〉

透析導入期は心身ともに安定するまでの期間をいい、心身ともに透析をしている生活に慣れてきた時期を透析維持期という。

【問題 28 (7章③・④)】

解答…⑤

〈解説〉

高齢透析患者の終末期支援は、患者の希望を中心におき、「本人にとって何が最善か」を患者・家族・医療・介護チームなどで話し合い、合意形成することが大切である。

【問題 29 (8章①)】

解答…③

〈解説〉

C型肝炎(HCV)では、内服薬の抗ウイルス薬(DAA)による治療が簡便で高い効果をあげている。

【問題 30 (8章②)】

解答…②

〈解説〉

緊急離脱とは、災害や火事などで透析中の患者全員の透析を緊急に中止し、一刻も早くベッド上から解放することである。